



# なぜ今“イクボス”が必要か

## NPO法人 ファザーリングジャパン代表理事 安藤 哲也 氏



ここ数年、男性の育児や家事への参加意識は高まってきています。しかし、長時間労働の割合は30代・40代のお父さん世代が依然として高い割合となっており、「イクメンの壁」となっています。

すべての人が仕事と生活を「両立」する、「ワーク・ライフ・バランス」を実践することが必要といえます。そのためには、部下を支援する**上司＝「イクボス」**の存在が大きな役割を果たします。今号では、「イクボス」を提唱する、NPO法人ファザーリングジャパン代表理事の安藤哲也氏にお話を伺いました。

### Q: 「イクボス」とはどのような上司

A: ワーク・ライフ・バランスを実践する部下を支援するだけでなく、部下を育て仕事のマネジメントが出来る上司。管理職として成果も出して、自分のプライベートも充実させる。「こんな上司になりたい」と思える上司の元でこそ部下も育つはず。

### Q: なぜ「イクボス」は必要か

A: 「イクボス」はもちろん必要だが、それ以上に「働き方を変えること」が大事だと考える。共働き夫婦の育児は、女性の負担が大きくなる傾向が大きい。その要因に男性の長時間労働がある。長時間労働は育児のみならず、介護に取り組む必要が生じた時、同じく厳しい状況に置かれてしまう。職場をすべての人が働きやすい場所にする、「働き方改革」が必要であろう。

### Q: 子育て世代にエールを

A: 自分一人で頑張らないでほしい。育児も仕事もチームプレイ。子育ては未来を育てているのと同じ「社会貢献」である。誇りを持って子育てしてほしい。

男女共同参画だより No.137

私たちがめざす男女共同参画社会とは、男女がお互いを尊重し、多様な生き方を選択することが可能で、家庭、地域、職場などにおいて一人一人がいいきと暮らせる社会です。

# ハあもにい♪



子育て支援センター：通称「もみじの手」 アミューあつぎ8階  
0歳～6歳(小学校就学前)の子どもと保護者が利用できます。



## 夏休みはお手伝いデビュー！「親子の料理教室」

7月30日(土)に”夏休みはお手伝いデビュー！「親子の料理教室」”が開催されました。この講座は、若い世代にワーク・ライフ・バランスの意識を持ってもらうことを目的として、小学生と保護者の親子16組の方々に参加し、カレーピラフ等3品を作りました。子どもたちの楽しそうな、そして上手な包丁さばきに、「家庭でも一緒にお手伝いしているのかな？」と想像できました。

参加されたお父さんも日頃の成果を発揮し、楽しく料理をしていました。講師の厚木市食生活改善推進団体厚味会の“手の洗い方”や“肉や野菜の扱い方”の指導もわかりやすく興味深い内容でした。家族全員で自分ができる家事を担当し、助け合って楽しく暮らすことができる良いなぁ...と思いました。わいわいがやがや楽しくお料理した後、みんなで美味しくいただきました。

(取材:厚木市男女共同参画計画推進委員会 奥田)

### 【編集後記】

私たちはこれまで「男女共同参画」という聞き慣れない言葉をいかに伝えるかというのを考えてきました。その意味を考えた時、導き出される答えは、制度や社会保障の充実だけでなく、男女がお互いの“違い”を理解し、「ともに助け合う」という気持ちが必要ということでした。

今号では「ワーク・ライフ・バランス」について、ゲーム感覚で楽しく学んでもらおうと話しました。すごろくを進めていく中で、互いの違いを認め合うことの大切さに気づいていただければ幸いです。

平成29年2月発行

編集 厚木市男女共同参画計画推進委員会  
(奥田、柏木、門倉、小松、嶋、堀口、水島)

発行 厚木市市民協働推進部  
市民協働推進課  
厚木市中町3 17 17  
厚木市役所 第2庁舎3階

## 特集 ワーク・ライフ・バランスすごろく

### 特集

あそんで学ぼう！ワーク・ライフ・バランスすごろく  
スペシャルインタビュー：なぜ今“イクボス”が必要か  
NPO法人ファザーリングジャパン代表理事 安藤哲也氏  
講座レポート  
夏休みはお手伝いデビュー！「親子の料理教室」